

ひろしま木育アカデミー2023 第2回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第2回「森林編」を7月23日（日）に広島市植物公園にて開催しました（第2回のみ広島市植物公園と共催）。

はじめに、「森林と木育」として、「広島県の森林」について広島県森林保全課森づくり推進グループの稲守生光様にお話しいただきました。広島県の森林の現状から過去の経緯、天然林と人工林、人工林の管理とボランティア団体の活動まで幅広くご紹介いただきました。次に、私の方から「森林を知る活動を取り入れた木育の実践例」として、小学校4～6年生を対象とした箸づくりの木育プログラムを紹介しました。「自分の食生活にあった安全で使いやすい木のはしをデザインし、作ろう!」というテーマに関わる内容として、森林の種類と機能などの森林に関わる内容を取り入れた意図などを解説しました。

次に、「木製品に使われている樹木を知ろう」として、広島市植物公園の久保晴盛様にご担当いただき、室内での解説と園内の散策を行いました。前半の解説では、木と草、針葉樹と広葉樹の違い、樹木の成長、木の特徴に応じた利用「適材適所」などについて、広島と関わりのある木や木製品の実例を挙げながら解説いただきました。後半の園内の散策では、ヒノキ、ネズミサシ、クスノキ、ケヤキなどの樹木を実際に見ながら特徴などを解説いただきました。最後に、資料館1階の展示物を用いて樹木-木材-製品の繋がりをまとめました。

その後、樹種や葉、枝、実などによる違いを知ることを目的に、園内の散策の際に特別に採取した木の実、枝、葉などとヒノキ、スギ、ネズミサシの丸太の輪切りを用いてもものづくりをしました。丸太の輪切りを土台として、その上に採取した木の実などをホットボンドなどを用いて接着しました。

最後の「今日の内容を振り返ろう」では、今日行ったこと、今日の活動を通して分かったこと、次にやってみたいことを挙げ、グループ内で共有しました。



今回のアカデミーは、講師の先生方の分かりやすく、おもしろいお話と実際に見る・触れる・作るという内容を関連付けながら木育を楽しく学んでほしい、という思いで内容を構成しました。ボリューム満点でしたが充実したセミナーとなったのではと考えています。

（文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝）